

# ストーブ使用前の点検・掃除・換気

## 南阿蘇村 女性消防団 がより

Vol.3



## 女性 消防団 募集中

私たち女性分団14人は、男性消防団と同じようにそれぞれ仕事を持ち、また、ほとんどの団員が子育て真っ盛りです。仕事、家庭と両立する中での消防団活動ですが、団員お互い協力し合いながら無理のない範囲で活動しています。この「女性分団だより」も活動の一つとして、村の消防団活動の様子や生活に役立つ情報をみなさんに発信していきたいと思ひ掲載させていただきます。私たちと一緒に消防団活動してみませんか？いつでも大歓迎です!!

### ストーブ使用前点検

- ケガをしないように手袋をはめてください。
- 乾電池をケースから外してください。

### 1 芯の点検

芯の先端にタールが付着していませんか？

- タールが付着していると、芯の上下動作が重くスムーズにできなない。
- 点火動作をしても点火しない。
- 燃焼中に匂いがする。

### 2 燃焼筒の点検

ガラスの外筒が欠けたり、割れていませんか？

- 燃焼中の下端部が打痕により変形していませんか？
- 正しくセットされていませんか？
- 以上ができていないと異常燃焼し、すすの発生や火災の原因になります。

### 3 埃の点検

反射板や荷台に埃が溜まっていますか？

- 前板の下の隙間に紙やビニールが入り込んでいませんか？
- 火災の原因につながります。

### 4 油漏れの点検

こぼれたり、溜まったり、滲んだ油は必ずふき取ってください。

### 5 換気

石油ストーブの場合、1時間に1〜2回換気しましょう。換気が不十分だと室内の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化中毒の恐れがあります。

その他に、スプレー缶やカセットボンベを傍に置かない。洗濯物をかけたり、可燃物を置かない。

## 年末年始の防災対策

### 子どもや高齢者による事故…目を離さないようにしましょう

年末年始は、親戚同士で集まる機会も多いことから、子どもや高齢者による事故も多発しやすくなっています。特にお正月の事故としておもちゃのどに詰まらせてしまう事故です。また、大人が大勢集まる場所では「誰かが見ているだろう」と子どもから目を離しがちになってしまいケガ、やけど、交通事故、水辺の事故、誘拐など事故に巻き込まれてしまう危険があります。

### 火災の予防…日ごろから心がけましょう

年末年始は火を使う機会が多くなります。空気が乾燥しているため、少しの火が大きな火災になる恐れがあります。外出や旅行など家を留守にされる方も、日ごろの心がけと火の始末をきちんとすることが大切です。

- 暖房器具などスイッチを切りコンセントを抜く習慣をつける
- 暖房器具の周りに燃えやすいものを置かない
- 電源プラグや電気コードに劣化がないか点検する
- コンセントの差込口の汚れや埃は取り除く

### やけどにご注意!!

やけどの3大原因は、熱い飲み物、ポット、カップ麺。大やけどになるのは、やかん、浴槽。鍋物、シャワー、ストーブも要注意!!

もしやけどをしたら…。すぐに患部を流水で冷やします。冷やす時間は痛みが取れるまで20〜30分は必要です。熱が皮膚の奥へ浸透するのを防ぐため、やけどの直後に冷やすことが大切です。水をかけにくいところは、氷水に浸したタオルや氷嚢で冷やします。水疱ができたり、あとがジュクジュクしてきたら医師の診察を受けてください。

### 感染症は予防が第一!

感染する病気の場合、病気になって治療するよりも、病気を予防することが大切です。毎日の生活の中で、病原体がどこから体に入ってくるかを考え、それを防ぐ工夫をすることも必要です。侵入経路としては、呼吸器、消化器、皮膚の3つがよく知られています。

- ①呼吸器系(かぜ・インフルエンザ等)の感染予防は「うがい・手洗い・人ごみを避けること」
- ②消化器系(胃腸炎・食中毒等)の感染予防は「よく手を洗い、飲食物に気をつける」
- ③皮膚感染の予防は「日ごろからの清潔と傷はこまめに消毒を!!」

## 年末年始に向けての過ごし方